

☆☆☆「強く 正しく 健やかな西小っ子に！」☆☆☆

大村市立西大村小学校
学校だより

一歩前へ

文責：校長 高木 修
令和7年12月5日 No.17

☆☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆☆

◆ 人権集会



「人権デー」を最終日とする1週間（12月4日～12月10日）が「人権週間」と定められていることから、毎年、学校でもこの時期に「人権」について改めて考える取組を行っています。本校では、初日である12月4日（木）に、各学級をリモートで繋ぎ、朝の時間に人権集会を行いました。

思いやり算

～人を笑顔にする算数～

- ＋ 「たすけあう」と 大きな力に
- － 「ひきうける」と よろこびが生まれる
- × 「声をかける」と 一つになれる
- ÷ 「いたわる」と 笑顔が返ってくる

◆ 「校長先生の話」ということで、話す機会をもらいましたので、以下の内容を話しました。

- 「自分らしく明るく楽しい生活をおくる権利」である「人権」を守るためには、「思いやりの気持ち」が必要
- 「自分も、自分の周りにいる人も、一人一人が大切な存在」であり、「みんな違ってみんないい」んだ
- このことに「気づく心」をみんなと一緒に磨き合い、お互いの良さや違いを認め合えるようになれば、間違いなく人権は守られ、西大村小学校が、みんなが「喜んで登校し、満足して下校する学校」になる
- 毎日の「心の勉強」を積み上げて、「思いやりの気持ち」を広げていこう
- そして、温かい雰囲気の西大村小学校をみんなで作っていこう

話の中で、何年か前にテレビのコマーシャルで流れていた、「思いやり算」についても紹介をしました。「人を笑顔にする算数」は、4つどれを見ても優しさにあふれていてとても素敵です。「思いやり算」が得意な子どもたちが、これからどんどん増えていき、いろんな場面でその行動が見られることを期待しています。

れいおわねんど
にしおおむらしょうかっこう
じんけんせんげん

- 1 あいさつや、やさしいことばによって、
1人はみんなのえがおをつくり、
みんなは1人のえがおをつくります。
- 2 みんなでたすけあい、
おもいやりのきもちで、
なかよくします。
- 3 西小のいいところをたいせつにします。

全校合唱
「Believe (ビリーブ)」 作詞・作曲 杉本竜一

| | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 2 |
| たとえば君が 傷ついて | もしも誰かが 君のそばで |
| くじけそうに なった時は | 泣き出しそうに なった時は |
| 必ずばくが そばにいて | だまって腕を 取りながら |
| 支えてあげるよ その肩を | 一緒に 歩いてくれるよね |
| 世界中の 希望のせて | 世界中の 優しさで |
| この地球は 回ってる | この地球を 包みたい |
| 今 未来の 扉を 開ける時 | 今 素直な 気持ちに になれるなら |
| 悲しみや 苦しみは | あこがれや いとしさが |
| いつの日か 喜びに 変わるだろう | 大空に はじけて 光るだろう |
| I believe in future 信じてる | I believe in future 信じてる |
| | 今 未来の 扉を 開ける時 |
| | I believe in future 信じてる |

◆ 3校合同講演会



12月4日（木）、19時より、西大村中学校区PTAの「3校合同講演会」が中地区公民館にて開催されました。「親子で話そう性のこと ～タブー視せずにポジティブに～」という演題で、産婦人科専門医の塚本大空（つかもと おおぞら）先生をお迎えしての講演会でした。「性教育を子どもにするタイミング」は、「親が必要と思った今がそのとき」なのだそうです。親の方が躊躇しがちな話題ですが、先生が話の最後に言われたように、「親も学びの一歩を踏み出す」ことが大事だなと感じました。